

株QTnet

専門集団「YOKAプロ部」 「AI」活用の新事業を創発する

AI翻訳ソリューション提供開始

2019年に新規事業創発の専門部署「YOKAプロ部」を開設以来、新領域の開拓に果敢に挑んでいる九電グループの情報通信会社、株QTnet。今年度はAI分野において、さまざまなソリューションの提供を開始している。

7月6日にはリアルタイムAI音声翻訳システムを開発した台湾のスタートアップ企業VM・Fi（アイエムファイ）社と業務提携し、多言語対応を必要とするビジネスや観光現場で即戦力となるAI翻訳ソリューションの提供を開始した。高速大容量ネットワーク環境下で音声と同時に翻訳して字幕表示する同ソリューションは、音声認識精度の高さと圧倒的な翻訳スピードで言語の壁を取り払うのが特長だ。窓口案内業務や会議進

行などと同時並行で翻訳でき、昨年の博多駅総合案内所での実証実験で好評を得たほか、今年7月に開催された世界水泳福岡大会の会場特設エリア「Fukuoka Ichiba」でも採用された。

同社では、アフターコロナで訪日外国人が急増するなか、人手不足や人件費高騰で対応品質の維持とコスト削減が喫緊の課題となっている観光業界をはじめ多用途に通信回線や最適デバイスを含めたトータルソリューションとして提案していく。

生成AIプラットフォームも準備

同社では6月、男子プロバスケットボールクラブ運営会社、株広島ドラゴンフライズと最先端のAIカメラを活用し観戦体験の価値向上を目指した共同プロジェクトも始動。これは福岡市のHMS株と

共同開発するAIカメラで観戦者の情報を収集・分析し、新たなマーケティング戦略の策定や商品開発などによって、より感動的な観戦体験を提供していこうというものだ。また、今年に入り話題をさらったChatGPTに代表される生成AIに関しても、AIリテラシーに則した独自の生成AIプラットフォームの商用化を準備する。

オープンイノベーションプログラム「TSUNAGU」

無人店舗をはじめ、いち早くAI分野での新規事業創出に着手していた同社がここに来て数々のソリューションを提供開始するのは、2020年から毎年開催してきたオープンイノベーションプログラム「TSUNAGU」の存在が大きい。先述のVM・Fi社やHMS株もその優秀賞受賞企業だ。また、社内でのAI講座開催やAIに特化したインタビューなどAI人材の育成・確保にも力を入れる。今後はAI翻訳ソリューションをはじめ導入先との協業や共創も視野に入れ、AI分野でも九州から無限の可能性を追求する。

圧倒的な翻訳スピードで、言語の壁を取り払おう！

QTnet AI翻訳ソリューション

長期的なご利用、スポットのご利用、モバイルデバイスのレンタルなど、AI翻訳ソリューションをワンストップでご提供いたします。

AI翻訳ソリューションのご相談はこちらまで

[AI翻訳相談窓口] <https://forms.office.com/r/sKrDMwwgw0>



SMART Translation window

観光案内所でのご利用イメージ

利用者と案内所スタッフの会話をクラウド上のAI翻訳システムでリアルタイムに翻訳・字幕化します

天神には地下鉄が便利です。

案内スタッフ

How do I get to Tenjin?

利用者

お問合せ

そのほか、AIに関するご相談・お問合せも受付けております。お気軽にご連絡ください。

QTnet YOKA プロ部 ☎ **092-981-7854** (受付時間：平日 9:00～17:50) | ✉ AI_Pro@qtnet.co.jp